

東 中 学 区

1 はじめに

今年度も、「夢に向かいたくましく生きる児童生徒をともに育てる小・中連携はどうあればよいか」というテーマのもと、小・中のよりよい連携の在り方を模索してきた。「東中学校区小・中連携部会」「児童生徒交流会」の二つを柱として行った。

2 今年度の取組

月 日	実践内容	月 日	実践内容
6月 6日	第1回連携委員会 ・今年度の活動の決定	11月 5日	児童生徒交流会
		2月	第2回連携委員会 ・来年度の活動について
9月 5日	東中学校区小・中連携部会 (東中)	3月	学級編制会議

3 活動の実際

(1) 東中学校区小・中連携部会

授業参観と分科会が行われた。東中生の真剣に授業に取り組む姿が見られた。分科会は校長部会・事務部会・養教部会と、テーマごとに第1～3分科会に分かれての話し合いがもたれた。今年度は新たに社会教育主事による研修会も行った。講話を聞いた後、学校と地域の双方向の連携・協力について、ワールドカフェ方式によるワークショップを行った。小・中それぞれの立場から地域との連携や在り方をじっくりと考えるよい時間となった。

- ① 授業参観 各学年の授業を各学校の先生方が自由に参観するという形式で行った。
- ② 分科会 各テーマについて各小・中学校から話題提供してもらい話し合った。
 - 第1分科会 テーマ 「社会人基礎力を身に付ける学習指導について」
 - 第2分科会 テーマ 「主体的に取り組む『あいさつ』の指導について」
 - 第3分科会 テーマ 「中学校1年生の情報交換」(桂城小, 有浦小, 長木小の3部会)

③ 研修会

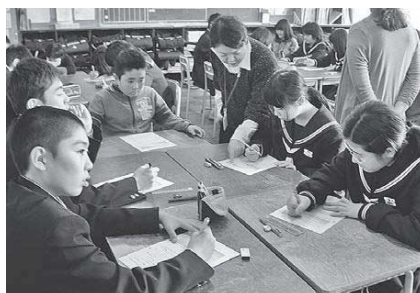
テーマ「活力ある地域コミュニティの核となる学校を目指して」

講師 北教育事務所 主任社会教育主事 佐藤 潔 他3名

ワークショップ 「学校と地域の双方向の連携・協力について」

(2) 児童生徒交流会

来年度入学予定の3小学校の児童が中学校を訪問した。今年度も、児童が東中生と一緒に授業を体験するという形式で行った。また、授業の後は生徒会主催の集会で交流した。集会では、クイズとゲームにより明るい雰囲気での交流することができた。その後、生徒会執行部員の案内で、各部活動見学も実施した。



【児童生徒交流会：英語の授業の様子】

4 おわりに

児童生徒交流会では、小学生が中学生と一緒に授業を体験することによって、児童生徒の交流をより深めるとともに、中学校の授業をより身近に感じてもらうことができた。東中学校区小・中連携部会においては、さらに効果的な活動の模索を行い、連携を強めていきたい。